

科目番号	59012	分類	専門科目 生活支援総合看護学	履修者	看護学研究科博士課程			学年	
科目名	看護教育学 ( Science of Nursing Education )							1	
								配当シスター	
								通年	
担当者	○上國料 美香			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】 誰もが質の高い医療・看護を受けられる社会の実現、それを支える看護職者の発達と関連づけながら、看護教育学の特徴、看護教育評価論、看護教育学研究への理解を深める。特に、看護職の教育活動と評価を取り上げ、看護職の教育活動の質を保証するために必要な評価への理解を深める。これらの理解に基づき、看護職者個々人の発達を支援するような看護教育学の教育・研究を自立して遂行するために必要な能力を探究する。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>誰もが質の高い医療・看護を受けられる社会の実現、それを支える看護職者の発達と関連づけながら、看護教育学の特徴、看護教育評価論、看護教育学研究への理解を深める。</li> <li>看護職者個々人の発達を支援するような看護教育学の教育・研究を自立して遂行するための自己の課題を明確化し、克服に向けた計画を立案する。</li> <li>看護職者個々人の発達を支援するような看護教育学の教育・研究について検討、提言する。</li> </ol>						○	1. 看護学の継承・発展を目的とした研究能力		
							2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力		
							3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究能力		
						○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
						○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力		
						○	6. 実践を行いながら学部学生の臨床実習を指導できる能力		
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1~2回	ガイダンス							上國料	
第3~13回	看護教育学概論 定義と意義 課題プレゼンテーション：①文献抄読、②教育実践の評価と課題 ディスカッション：プレゼンテーション内容に関する討議								
第14~15回	課題プレゼンテーション：看護職者個々人の発達を支援するような看護教育学の教育・研究に関する検討と提言								
事前・事後学習	事前学習：各回の講義や抄読内容を理解する。プレゼン担当者は、資料の作成と発表準備を行う。 事後学習：授業資料や発表資料を再読し、内容の理解を深める。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせる。								
評価の方法	プレゼンテーション40%、授業への参加状況30%、レポート30% フィードバックは適宜行う。								
参考図書 ・資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>Marilyn H. Oermann, Kathleen B. G.: Evaluation and Testing in Nursing Education (6<sup>th</sup> ed) Springer Pub Co, 2019.*</li> <li>舟島なをみ：看護学教育における講義・演習・実習の評価, 医学書院, 2001.</li> </ul> その他、随時紹介する。*必須図書								
事前・事後学習	事前学習：各回の講義や抄読内容を理解する。プレゼン担当者は、資料の作成と発表準備を行う。 事後学習：授業資料や発表資料を再読し、内容の理解を深める。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせる。								
備 考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								